

学年	必ず身につけておく能力と資質						
	科目	看護の基盤となる豊かな人間性や倫理観と教養を身につけている。	看護職として専門分野における学問内容の知識・技術を修得している。	人間の身体的・心理的・社会的な健康状態を科学的に評価し、的確な判断を行う。	人々の健康維持と増進、予防、また健康障害からの回復過程等、全ての健康段階を連続的に捉え、生活に根ざした支援の必要性が認識できる。	リーダーシップを身につけ、自ら多職種と連携・協働することができる。	国際化及び社会の医療ニーズの変化に対応し、生涯を通して自己を高めることができる。
1年	フィールド実習	◎	○				
	アカデミックリテラシー	◎	○				
	物理学/生物学/化学	○		◎			
	心理学	◎	○				
	生命倫理学	◎					○
	健康体力科学・演習	○		◎			
	法と社会/社会福祉論			○		◎	
	社会学	◎		○			
	医療人類学	○					◎
	情報処理学					○	◎
	英語 I / II	○					◎
	ドイツ語/中国語/ロシア語	○					◎
	解剖生理学/演習		○	◎			
	代謝と栄養		○	◎			
	解剖生理学実習		○	◎			
	人間病態学(病気の成り立ち)/演習 I		○	◎			
	疾病・障害論 I (概論)		◎			○	
	疾病・障害論 II A (各論 1)		◎			○	
	薬理学		○	◎			
	公衆衛生学			◎		○	
	看護学概論		◎				○
	生活援助論 I / II		◎				
	フィンガリアスメント		○	◎			
	基礎看護学実習 I	◎					○
	感染管理学		◎	○			
	地域看護学概論		○			◎	
国際看護論	○					◎	
2年	臨床心理学	○		◎			
	哲学	◎	○				
	フィジカルフィットネス	◎		○			
	教育学	◎	○				
	人間工学				◎	○	
	保健統計学/疫学				◎	○	
	英語 III・IV/英会話/英語講読					○	◎
	人間病態学演習 II		○	◎			
	疾病・障害論 II B (各論 2)		◎			○	
	疾病・障害論 II C (各論 3)		◎			○	
	疾病・障害論 III (精神)		○	◎			
	疾病・障害論 IV (母性)		◎	○			
	疾病・障害論 V (小児)		◎	○			
	看護過程論		○	◎			
	診療補助技術論 I・II		◎	○			
	臨床推論・臨床判断演習		○	◎			
	基礎看護学実習 II		○	◎			
	母性看護学概論		○			◎	
	小児看護学概論		○			◎	
	成人看護学概論		○			◎	
	成人看護方法論 I・II・III			○		◎	
	老年看護学概論			◎		○	
	老年看護方法論 I・II			○		◎	
	精神看護学概論		○			◎	
	精神看護方法論	◎		○			
	在宅看護学概論			○		◎	
在宅看護方法論 I		○			◎		
公衆衛生看護方法論 I		◎			○		
公衆衛生看護方法論 II・II 演習		○			◎		
3年	医療経済学		◎			○	
	健康環境論			◎			
	生理人類学	◎		○			
	保健医療福祉論		◎	○			
	母性看護方法論		○			◎	
	母性看護方法論演習			○		◎	
	小児看護方法論		◎	○			
	小児看護方法論演習		○	◎			
	成人・老年看護方法論演習 I・II・III		○	◎		◎	
	精神看護方法論演習		◎	○			
	在宅看護方法論 II			◎		○	
	在宅看護方法論演習		◎	○			
	公衆衛生看護方法論 III・III 演習		○			◎	
	母性看護学実習			○		◎	
	小児看護学実習			○		◎	
	成人・老年看護学実習(急性期)			○		◎	
	成人・老年看護学実習(慢性期)			○		◎	
	精神看護学実習			○		◎	
	研究方法論					○	◎
	4年	在宅看護学実習				◎	○
公衆衛生看護学実習				○	◎		
統合実習						◎	○
看護キャリア形成論						◎	○
コミュニティ政策論			○			◎	
災害看護論						◎	○
子どもと家族の発達支援論				○		◎	
思春期健康論				○		◎	
緩和ケア論						◎	○
認知症高齢者ケア論						◎	○
地域精神保健看護論						◎	○
E B P の探究						○	◎
卒業研究					○	◎	
共通		ヒューマンヘルスケア	○		◎		
	国際看護演習 I・II・III	○					◎